

## 心をたがやす道徳教育

～「自己との対話」「他者との関わり」「日常生活との関わり」を通して  
道徳的実践意欲を高める指導の工夫～

昭和村立昭和中学校 校長 佐藤 充  
教諭 室井 章太

### 1 研究の趣旨

本校生徒の課題である「自分の考えを持つ」「他者の考えに触れる」「より良い人間関係を構築する」を受け、平成25年度から道徳教育による校内研修をスタートした。初年度には、書く活動により考える力が向上するとともに、他者の価値観に触れることにより広い視野から物事をとらえられるようになったという成果が得られた。一方、自分の自身を律し、自分の力を高める意欲が弱いことや道徳の時間に学んだ道徳的心情や道徳的判断力を日常生活で活かしていくことが課題としてあげられた。

以上を踏まえ、「書く活動」や「交流活動」に加え、道徳の時間に学んだことを日常生活と関連付けてとらえさせる活動を取り入れたり、教科・行事・学校生活等で学んだことを道徳の時間に補充・進化・統合したりして、道徳的実践意欲を高めるため、以下のような仮説を設定し、本主題にせまった。

道徳の時間に、「自己との対話」「他者との関わり」「日常生活との関わり」を効果的に取り入れていけば、道徳的価値を自覚し、より良く生きようとする道徳的実践意欲が高まるであろう。

### 2 研究の概要

#### (1) 生徒の実態把握

- ① 道徳性検査及び学級診断尺度調査の実施
- ② 前年度の成果と課題から

#### (2) 「3つの視点」と「昭和中の道徳授業の流れ」の設定

- ① 視点1：自己との対話について（主として書く活動）
  - 資料を通して自己を見つめ内面にせまる書く活動
  - 他者との関わりを通して自己を見つめ直す活動
  - 今後の自分をイメージする活動
- ② 視点2：他者との関わりについて（主として交流活動）
  - 自分の考えをもとにした価値の触れ合い
  - 他者との学び合いによる新しい価値観の構築
  - 学びをつなぐ意図的指名による教師の関わり
- ③ 視点3：日常生活との関わりについて
  - 日常生活を道徳の時間に関連付ける活動
  - 別葉を活用し教科と道徳の時間に関連付ける活動

- ④ 事前指導も含め、道徳の授業の導入から終末までの基本の流れを示し、全校道徳を中心に、各学年でも年間を通して実践し、生徒の道徳性の高まりを累積記述や行動観察から評価する。

#### (3) 3つの視点をもとに「道徳の時間」と様々な教育活動に関連付けた道徳授業の実践

### 3 成果と今後の課題

#### (1) 成果

- ① 自己との対話において、書く活動を取り入れて考える力が向上した。
- ② ペア学習や全体発表で他者の価値観に触れる機会を設定したことで、より広い視野で物事をとらえるようになった。
- ③ 終末の自己評価カードにより、自分の取組を振り返り、思考を整理し、本時の価値へ収束し、道徳的実践意欲の高まりにつながった。
- ④ 道徳性検査の課題を踏まえて授業を実践したことで、課題の価値項目が大きく改善した。
- ⑤ 個人カルテを活用し、自己評価の累積や行動観察を関連付けて生徒の変容を評価したことで、積極的に生徒の成長をとらえることができた。

#### (2) 課題

- ① 別葉を活用して、国語科と社会科で学んだ内容に関連付けた道徳の時間を実践できたが、他の教科においても、実践をすすめていきたい。
- ② 学級診断尺度調査の結果を生かした授業づくりは効果的であったが、さらに承認得点を上げて、被侵害得点を下げるような生徒同士の関わりを考えていきたい。